

あおやましんめい  
**青山神明遺跡 (本発掘調査B)**

**所在地** 西春日井郡豊山町大字青山字神明地内  
 (北緯35度15分46秒 東経136度54分41秒)

**調査理由** 防災拠点周辺道路整備工事

**調査期間** 令和7年5月～8月

**調査面積** 599㎡

**担当者** 鈴木正貴・梶田真由



調査地点(1/2.5万「小牧」)

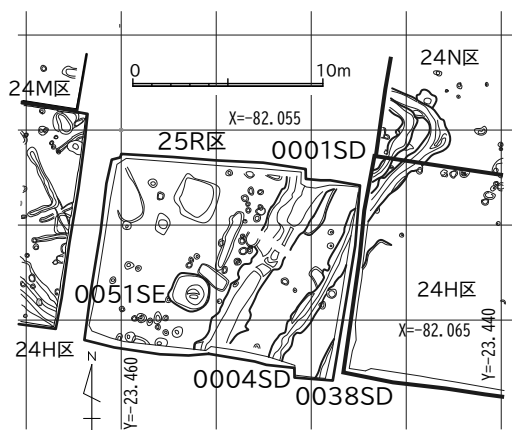
**調査の経過** 調査は、愛知県建設局道路建設課による防災拠点周辺道路整備工事に伴う事前調査として、愛知県県民文化局より委託を受け、令和7年5月から8月まで実施した。調査区は遺跡南西部に位置しており、西側からRa区、Rb区、Qa区、Qb区と区分した。調査面積は599㎡である。

**立地と環境** 青山神明遺跡は、西春日井郡豊山町の北部に位置しており、小牧市から続く低位段丘上に立地する。本遺跡の南東側には大山川、北西側には中江川があり、挟まれている。標高は約10mである。

**調査の概要** 調査区全体が湿地状の灰色粘土が堆積しており、灰色粘土の下位から溝と方形土坑1基が検出された。  
**25Q区** 溝は大略南北方向に走るもので2回以上の掘り直しが確認されており、古瀬戸製品などが出土したことから15世紀に位置付けられる。方形土坑は埋土が斑土となるもので、土坑墓の可能性が考えられるが、出土遺物は確認できなかった。

**25R区** 大略南北方向に平行して延びる溝3条と井戸1基が検出された。溝は隣接する24H区、24M区、24N区の調査成果と合わせてみると方形に巡る形に復元され、内部からは井戸の他に柱穴などの小規模遺構群が確認されていることから、屋敷であったと推定される。これらの遺構は古瀬戸製品などを伴うことから、室町時代に属すると考えられる。

(鈴木正貴)



25R区全体図



25Q区全体図